

資料 5

令和2年度 寒川町みんなの協働事業提案制度採択事業【実績報告】

	協働事業名	提案団体名	事業協力課	事業概要	町の役割	交付額（決算）
事業①	健康運動ボランティア健康づくり推進活動	健康運動ボランティア	健康づくり課	体操等により心身の健康を促進して、町民の健康づくりに貢献する。町民の参加者が健康運動ボランティアと一緒に、楽しみながら体操等をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動が制限され、会員の勉強会を実施した。	社会福祉協議会との調整、自治会等との調整、活動PRの協力、健康運動ボランティアの活動に関する助言等	50,000
事業②	ヘルスライフアカデミー	健康都市づくり研究会	スポーツ課	体操、エクササイズ等により心身の健康を促進して、町民の健康づくりに貢献した。毎月1回、ヘルスライフアカデミーの開催を予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施は7回。	町の施設との調整、会の活動PRの協力、活動に関する助言等	50,000
事業③	「声の広報さむかわ」等、作成事業	寒川町録音奉仕会「麦笛の会」	広報戦略課 福祉課	目の不自由な方に町からの情報を音声に変換してお伝えすることで不足しがちな町の情報伝達を補った。「声の広報さむかわ」を10回発行。他に、「議会だより」を3回、「町議会議員選挙公報」を1回、「お知らせ版」を9回音声化した。	声の広報さむかわ等の原稿作成、ホームページなどによる周知、視覚障がい者のニーズや希望者の把握	121,000
事業④	湘南さむかわラジオ（さむラジ）	NPO法人湘南さむかわラジオ（さむラジ）	広報戦略課	コミュニティ放送事業運営を行うことで、寒川町や周辺住民の方々に対し、さまざまな情報を提供し、地域の問題や課題をともに考える場をつくることによって、地域の活性化とまちづくりに寄与に努めた。インターネットラジオ放送。救助活動、防災活動について行政、自治会及び地域住民との連携強化を図った。高齢者に対する情報通信機器の操作方法の講習や放送内容に関連するイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行わなかった。	さむラジの活用、さむラジとの連携強化、さむラジの周知等	316,000

協働事業評価シート

令和3年 4月 12 日

<p>提案者 (団体名・代表者 氏名)</p>	<p>健康運動ボランティア 会長 石井 祥子</p>
<p>協働事業名</p>	<p>寒川町みんなの協働事業提案制度補助金</p>
<p>事業協力課</p>	<p>健康・スポーツ課</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/>準備段階 <input checked="" type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/>団体から <input checked="" type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義（町との連携を図ることで町民の健康意識向上につながることは明確である。）</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的（体操時セラバンドを活用することで体力向上等につながることは明確である。）</p> <p>5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標（町民と運動ボランティアと一緒に楽しく体を動かし、健康の維持向上を図るという目標は」明確だった。）</p> <p>6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（使用していたセラバンドの劣化が明らかであったため十分理解できた。）</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 ()</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (新型コロナウイルスの蔓延で健康づくり体操の日が中止になったが状況共有は出来ていた)</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (実施内容や人数、使用している写真の記録を残した。)</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、実施内容を町と相談できた。)</p>
<p>終了後の段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input type="checkbox"/>はい <input checked="" type="checkbox"/>いいえ 理由 (健康づくり体操の日を実施できなかったため)</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (今年度は、安全策やワクチン接種の状況を踏まえ実施予定)</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は <input checked="" type="radio"/>5 <input type="radio"/>4 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>1 【高い:5 低い:1】 理由 (今後消毒作業などで劣化するスピードが速くなるため、潤沢にセラバンドがあることで事業がスムーズに実施できる。)</p> <p>14. その他気づいた点など (自由記入)</p>

協働事業評価シート

令和3年4月12日

<p>提案者 （団体名・代表者 氏名）</p>	<p>健康都市づくり研究会 会長 織田 敦</p>
<p>協働事業名</p>	<p>ヘルスライフアカデミー</p>
<p>事業協力課</p>	<p>スポーツ課</p>
<p>準備段階</p>	<p>1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/>準備段階 <input checked="" type="checkbox"/>実施段階 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/>団体から <input checked="" type="checkbox"/>町 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 意義（特に周知等で行政と連携が図れ、参加者も町広報を見ての申し込みをしてきた。）</p> <p>4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目的（体操、エクササイズ等により心身の健康を促進し、町民の健康づくりに貢献すること。）</p> <p>5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 目標（毎月1回、ヘルスライフアカデミーを開催することであった。12回中5回は新型コロナウイルスの影響により中止。）</p> <p>6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（この事業の前から、事業協力課の事業にも協力をしていた。）</p>

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（会は町民の健康づくりに資すること。町は活動への協力や助言等。当初のとおりであった。）</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（常に連絡を取り合っていた。）</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（記録は会で残している。）</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（当初のそれぞれの役割分担のとおり、事業を進められた。）</p>
<p>終了後の 段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（新型コロナウイルスの影響で、12回中7回アカデミーの開催を中止したが、当初の目的は進めることができた。）</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（)</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 (4) 3 2 1 【高い：5 低い：1】 理由（開催が5回中止になったこと以外は、当初の計画に沿って進めることができた。）</p> <p>14. その他気づいた点など（自由記入）</p>

協働事業評価シート

令和3年 4月 12日

提案者（団体名・ 代表者氏名）	寒川町録音奉仕会「麦笛の会」 代表者 大貫 佳子
協働事業名	「声の広報さむかわ」等、作成作業
事業協力課	福祉課、広報戦略課
準備段階	1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/> 準備段階 <input checked="" type="checkbox"/> 実施段階 <input type="checkbox"/> その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/> 団体から <input checked="" type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 意義（活動にとって、町の関係部署との連携が重要） 4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目的（視覚障害者の方に町の情報伝達のお手伝いをする） 5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目標（「広報さむかわ」、「議会だより」、「選挙広報」の音訳、配信により、広く情報を得て頂く） 6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由（報告の機会を活用し相互の意思疎通実施）

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (目標実現に、各々が持てる権限・スキルでサポート)</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (中間報告会などを通して共有できた)</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (録音実施記録を作成した)</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (町のホームページ等で大いにPRいただいた)</p>
<p>終了後の 段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (2回のコロナ緊急事態宣言発令にも拘わらず、概ね配信できた)</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由 (読者 (ボランティアを受ける視覚障がい者)を増やす方法、広報の内容について適宜、調整・相談しながら活動を進めることができた)</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は 5 (4) 3 2 1 【高い:5 低い:1】 理由 (コロナにより全ての配信ができなかった)</p> <p>14. その他気づいた点など (自由記入) 「麦笛の会」の活動は、一ヶ年度のみでなく継続して活動して参ります。 今後も事業協力課はじめ、町のご協力ご支援をよろしくお願いします。</p>

協働事業評価シート

令和3年4月 8 日

提案者 （団体名・代表者 氏名）	NPO法人湘南さむかわラジオ（さむラジ） 理事長 今井 静二
協働事業名	湘南さむかわラジオ（さむラジ）
事業協力課	広報戦略課
準備段階	1. 協働が開始された段階は <input type="checkbox"/> 準備段階 <input checked="" type="checkbox"/> 実施段階 <input type="checkbox"/> その他 2. 協働の呼びかけはどちらからか <input type="checkbox"/> 団体から <input checked="" type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> その他 3. 協働で行うことの意義は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 意義（公共性を考え行う上で町との協働が必要と考え計画をしてきた。） 4. 事業の目的は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目的（地域の活性化とまちづくりに寄与するという目的は明確であった。） 5. 事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 目標（さむラジをより多くの方に聴いてもらうという目標は明確であった。） 6. 町（事業協力課）との相互理解は十分だったか <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 理由（課題がある都度に話し合い、相互理解に努めた。）

<p>実施段階</p>	<p>7. 事業実施上の役割分担は適切だったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（町がさむラジを活用し連携強化をすることは適切であった。）</p> <p>8. 進捗状況や情報は共有できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（イベントはコロナ禍で中止となったが、出来る事は十分にやって来た。）</p> <p>9. 実施のプロセスで記録は残せたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（ ）</p> <p>10. 団体と町の互いの特性を活かすことができたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（町のコロナ対策番組の放送などで、お互いの特性を活かした。）</p>
<p>終了後の段階</p>	<p>11. 目標・目的は達成できたか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（イベントは中止となったが、自宅リモート者がリスナーとして参加し拡大したため。）</p> <p>12. 今後の課題や改善策を話し合ったか <input checked="" type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ 理由（課題がある都度に話し合いはできた。）</p> <p>13. 事業全体を見て、事業に対する満足度は <input checked="" type="radio"/>5 <input type="radio"/>4 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>1 【高い：5 低い：1】 理由（ ）</p> <p>14. その他気づいた点など（自由記入）</p>

寒川町みんなの協働事業提案制度（令和2年度実施事業）実績報告に対する意見書

<p>協働事業名</p> <p>【実績報告①】</p>	<p>健康運動ボランティア健康づくり推進活動 （健康運動ボランティア／健康づくり課）</p>
<p>（提案団体に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成など、事業継続には重要なことだと思います。事業を進めながらボランティアを育成するのは、大変かと思いますが今後もできる範囲で続けて頂きたいと思います。 ・町民の健康増進のため、引き続き頑張ってください ・コロナ禍で活動出きず無念であったろうと推察しています。多くの住民に手軽に運動を推奨できることはすばらしいことです。今後の御活躍を期待しています。 ・高齢の方が多いと思いますが、無理に体操をさせるのではなく、家から一歩外に出るだけでも良いと思います。イスに座って身体を動かす事は良いと思います。 ・セラバンドは参加者に実費負担で配布しても良かったのではないかと。そうすることで、自宅でも体操指導と同じことが継続でき、参加者の健康増進にもつながるし、会でセラバンドを管理する手間も省けると思います。 ・自宅でも継続出来る様、指導する事。 ・セラバンドは、消毒等の開催側負担軽減の為、参加者の個人負担とし、各自専用のバンドとする事。 	
<p>（町に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保や開催日の周知など、お金は出せなくても協力できる部分はあると思います。より多くの町民に対する健康づくりのきっかけの一つとして、今後も会と連携していただければと思います。 ・コロナの安全対策をしっかりとサポートしてください。 ・当団体のメンバー活動時にはマイ・セラバンドを使用して、公募により一般町民が参加した人には町で用意したセラバンドを使用すると公私の峻別をつけることが本来必要なのではないでしょうか。 ・コロナ禍に於る、対象ガイドを明確にし進める様願います。 ・これからも支援して頂くのは良いと思います。 	
<p>（協働事業に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかに会が自主・自立して活動していけるか、町はどこまで関与すべきか。町はお金を出すことだけが全てではなく、前述の視点を持ってアドバイスや協力していくことが大事だと思います。 ・アルコールの使用によるセラバンドの劣化状況の経過観察をお願い致します。 ・運動を指導するボランティアと企画運営する行政の役割を更に明確に事業を進めて下さい。 ・町内の健康づくりに関する活動を整理し、年齢層も考慮した統廃合を進め、効率的に運営願います。 ・これからも協力して頂けたらと思います。 	

協働事業名

ヘルスライフアカデミー

【実績報告②】

(健康都市づくり研究会/スポーツ課)

(提案団体に関する意見)

- ・コロナ禍で事業実施するのは、悩まれたり苦勞することがあったと思います。今回、課題もあったと思いますが、自治体と意見交換しながら課題解決につなげて頂きたいと思います。今後も自治体と団体の役割と目的を確認しながら、事業の継続に繋げて頂きたいと思います。
- ・ボランティアといえども、全て無料で実施しなくても良いのではないかと思います。会場使用料、光熱水費、指導員の人件費等、今後も事業を無理なく継続していくためにも、最低限の実費負担はアリだと思います。
- ・コロナ禍ですが、できる方法は何があるか、もう少し具体的に検討してください
- ・ジムの認知がまだ低いのかもしれません。折角本格的ヨガを指導いただけるのですから更に多くの方が利用できることを望みます。
- ・自宅でも継続出来る様、指導する事。
- ・チューブとボールは、消毒等の開催側負担軽減の為、参加者の個人負担とし、各自専用のチューブとボールとする事。
- ・チューブを使ったエクササイズ、身体を動かしている時の写真があると良い。チューブやボールがそばにある写真でも見られたら良かった。

(町に関する意見)

- ・今後も協力してヘルスアカデミーを開催するならば、緊急連絡も含め、会との連携を密にしたいと思っています。
- ・事業実施において、場所やコロナ禍での安全面は適切であるか、自治体としてのアドバイスも重要だと思います。現場に赴くのは、難しいと思うのでどのような状況で実施されているか、こまめに団体と意見交換しながら今後も協力・連携をとって頂けたらと思います。
- ・コロナ禍での安全安心のガイドラインを明確に提示して、器具の有効活用ができるようサポートをお願い致します
- ・日本ではなかなか男性の参加が少ないようですが今少し多くの方の参加を工夫して下さい。
- ・計画変更は有りうる前提で、参加予定者の連絡先を事前確認し進めたい。

(協働事業に関する意見)

- ・町民の健康づくりに貢献するという目的のもと、会と町がどのように役割分担していくのか、課題を洗い出して、より良い事業となるよう改善していただきたいと思っています。
- ・コロナの影響で事業を実施することにおいて、苦勞することがあったと思います。協働において疑問や不安が生じた際は、その都度お互いに確認や意見交換することが重要だと思います。また定期的な意見交換も必要だと考えます。ですので、事業を実施する上では、こまめに意見交換しながら事業を進めると、より良い事業になっていくと思います。
- ・チューブ、ボールを購入したので、今後は、報告においては、実際に使用している写真や今後の取り組みの方針や課題は、明確に説明をお願い致します
- ・プロのインストラクターに指導いただけることを大事にしてさらに活発になることを期待します。
- ・町内の健康づくりに関する活動を整理し、年齢層も考慮した統廃合を進め、効率的に運営願います。

協働事業名

「声の広報さむかわ」等、作成事業

【実績報告③】

(寒川町録音奉仕会「麦笛の会」／広報戦略課、福祉課)

(提案団体に関する意見)

- ・視覚障がいの方にとって重要な情報源だと思います。他団体との横の繋がりもあるということなので、そういった繋がりも大切にして頂きたいと思います。(団体同士の情報交換、他団体の事業を参考にされるのも事業継続にとって重要だと思います。) 今後の活動にも期待しております。
- ・視覚障がい者にとっては、音声データは、ライフラインでもあるので、今後も頑張って下さい。
- ・障害者総合支援法、障害者差別解消法が施行され、貴会の活動は誠に重要であります。社会の一員として平等に情報提供する観点からも益々のご活躍をお願いします。
- ・麦笛さんはとっても障がい者にやさしく声の録音が出来ています。読者さんが多く活用して頂けたら良いと思います。
- ・パソコンを購入したとはいえ、いずれ老朽化します。CDの買い替えも必要になってくるでしょう。ボランティア活動であっても、最低限の運営資金は必要です。せっかく良い活動をされているのですから、今後も無理なく継続していける方策を探っていただきたいと思います。
- ・「さむかわラジオ」の活用を積極的に進め、効率的な運営を願う。

(町に関する意見)

- ・視覚障がい者に対し、町をはじめとする情報を提供するためにも、町でも協力できる部分は継続していただきたいと思います。(例) 録音時のアクリルパネル貸出、さむラジオとの連携、クラウドファンディングの検討など。
- ・自治体と団体で、連携されながら事業を進めていることが分かりました。今後も事業に関する課題やお互いの役割分担など、自治体と団体で意見交換しながら、事業を進めて頂きたいと思います。
- ・麦笛の会の皆さんが安全な環境下で作業ができるよう、アクリル板の購入でも貸し出しでも良いので、早急に検討をお願い致します。
- ・障害者総合支援法、障害者差別解消法からも本来行政が行うものと思われれます。作業をボランティアの方に頼ることは良いと思いますが、資機材についてはもっと積極的に支援していくべきと思います。
- ・町内約70名の対象者に対し、参加者9名は、やや参加率が低いと思われる。個別訪問等で普及率の向上が望まれる。
- ・これからも支援をお願い致します。

(協働事業に関する意見)

- ・麦笛の会については、すでに自立した団体ではないかと思っています。ただし、ボランティア団体とはいえ、事業を継続していくためには、一定の運営費がかかるので、その捻出が懸念されます。
- ・自治体と団体で協力しながら事業が進められていると感じました。今後も自治体がフォローやアドバイスできる所と団体もっているスキルなどを相互に確認しながら、事業を進めて頂きたいと思います。
- ・今後も頑張って下さい
- ・ボランティアと行政の役割を再度整理することが必要ではないでしょうか。
- ・隣接する市との情報交換を、定期的実施し、普及率を向上する施策等の検討を願う。
- ・麦笛さんとの協力をお願いします。

協働事業名

湘南さむかわラジオ（さむラジ）

【実績報告④】

(NPO法人湘南さむかわラジオ（さむラジ）／広報戦略課)

(提案団体に関する意見)

- ・課題がある都度、自治体と話し合われていたことは、協働において重要なことだと思います。今後も活動を続けていくにあたり、自治体と団体の意見交換をして頂きたいと思います。また今後の事業継続の為に、他の地域の団体の人の集め方など参考にしても良いかと思います。団体の横の繋がりができれば、情報交換もできるので今後の運営実施の参考にもなるかと思えます。
- ・難しさはあるかもしれませんが、リスナー数・再生回数（視聴回数）の客観的数字を把握することは重要だと思います（必要性や存在意義を訴えていく上でも）。また、最低限の運営費を捻出する方策も検討されてはいかがでしょうか。
- ・自己基準での感覚評価の報告ではなく、相対的または、絶対的な数値評価をもって、説明をしてもらいたい。
- ・残念ながら公的資金を助成されたが、その効果が不明確であった。「リスナーが拡大した」なら、例えばリクエスト数や、アンケート数、投稿数などで示してほしい。大切なのは町民が何人聞いているかだと思います。
- ・人手不足等の課題を明確（どの様なスキルが有る人）にし、町とどの様に進めるか、十分な検討が望まれる。
- ・災害の時はさむラジは必要になると思いますが、自分達だけで一生懸命やっているし、少人数の割にとっても良く出来ていると思わず、助言があった時は耳をかたむけて検討して見るのもどうかと思います。町民が必要とされる用に放送が出来たら。

(町に関する意見)

- ・災害時の情報発信ツールとしては、連携する意義はあると思います。設立者個人の熱い思いは認める一方、法人として今後いかに事業を継続できるか、さむラジがより発展していくためのアドバイスをお願いします。
- ・団体と意見交換しながら、事業を進められてきたことが分かりました。今後も課題解決や事業を進めるにあたり自治体がアドバイス、協力できる部分は、意見交換しながら事業を進めて頂きたいと思います。
- ・公共放送を担っている側面から、内容面だけでなく、継続放送を担保するための法人の体制づくりを含めた助言や時には指導などをもっと積極的に行ってほしい。
- ・行政として公金を出す以上、町民にどれだけのプラスになったのか、エビデンスを明確に求めるべきではないでしょうか。今日EBPMが重要視されていることはご承知のとおりです。本来でしたら、放送内容のチェック機能も必要になると思います。
- ・前回、「麦笛の会」が参加したらとの意見を述べさせてもらいましたが、反映されており、レスポンスが良いと感じました。
- ・上記に関連し、審査会の議事録を発行されたら良いと思います。
- ・町の協力は必要。

(協働事業に関する意見)

- ・みんなの協働事業は単年度支援で、今回は備品購入に充てたが、本当にそれで良かったのか。法人が継続した運営をしていくために、法人がどう自立していけるか、町はどこまで関与すべきかは、

単年度ではなく、数年かけて検討すべきではないかと思います。

・放送をするためのツールは、今回申請した機材だけでなく、マンパワーもなければ、行う事ができません。人が集まらないと言う事でしたが、なぜ集まらないのか？という検証をし、改善が必要と考えます。それを含めた今後の事業全体を、短中期的で良いので、スケジューリングづくりをさむラジと行政側でしっかりと連携して、作り上げて下さい。

・町として行政情報に限らず町商工農、自治会、コミュニティ等町民の必要とする情報を如何提供するかを両方で充分話し合い町活性化につなげていただきたい。

・人手不足が課題として有り、町方も先導して公募する等の対応が望まれる。

・審査会の質疑に関し、ボランティアで活動している人達に対し、もう少し柔らかい言い方が望まれる。

・意見交換を良くして協力が必要。